

# 明日にむかって

● 発行 / 陽光保育園創立40周年記念事業実行委員会 ● 発行日 / 1989年10月10日  
住所 / 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎ (956) 1068

「みんなで築いた陽光保育園」一創立40周年記念のついでを9月10日、文化会館大ホールに於て、1100名を超える方々の参加で、大成功のうちに終わることができました。40年という長い歴史の中で、働く人々とその子ども達のしあわせのために「みんなで創り、みんなで育てる」を基本に、どれだけ多くの方々が陽光保育園と共に、その活動に参加していただいたことでしょう。

激動する社会の中で、今後とも陽光保育園が取り組まなければならない仕事は、いっぱいあります。この40周年という時点をステップにして、「明日に向かって」みなさんと共に歩み続けたいと思います。

## みんなで創り、みんなで育てた保育園

# 一千余名が集って祝う

陽光保育園の創立四十周年を祝う「記念のついで」が九月十日板橋文化会館大ホールでひらかれ、在園、卒園の親子、職員、保育関係者や、地域の方々を含め、約一千百名が集いました。

第一部では、平沢理事長のあいさつに始まり、スライドによる保育園の四十年の歩みを紹介、続いて職員による豊年太鼓や卒園児三十余名による荒馬踊り、舞台いっぱい園児、親、職員の歌が披露され、参加者の感動を与えました。

第二部は、古楽器によるモーツァルトの演奏。東京コレギウム・オリジナルによる素晴らしい音色に客席はうっとりとし、しばし時のたつのを忘れて聴き入っていました。

第三部の記念パーティーは会場を移して約百四十名の参加で盛大に行なわれ、多くの方々から温かいお祝いの言葉をいただきました。



## コンサート

古楽器によるモーツァルト演奏は途中で、古楽器と現在の楽器の違いを実際演奏して聞かせてくれました。ヴァイオリンやトランペットなど、その音色や響きの違いは、子どもたちにもよくわかったようです。あの心地よい、暖い音色を知ったことは

## 40周年記念の集い



うれしいことでした。フルート協奏曲は、大変すばらしい音色で、本邦初演ということもあって感激を新たにしました。皆で歌おうではオーケストラをバックに「魔笛」を会場と舞台では職員四名が歌い、これこそ、本邦初演ではないでしょうか

## レセプション

会場を文化会館四階会議室に移したでしょうか。

一九八九年九月十日「陽光保育園創立四十周年記念の集い」は千名を超える方々と一緒に、なごやかに楽しく集うことができました。これも皆様方の暖かいご支援の賜物、ほんとうにありがとうございます。

そして、東京コレギウム・オリジナルの奏でる音楽は、日頃私たちが失いかけているものを呼び戻していきたいというように、ホールいっぱいになり、客席をやさしく包んでくれました。

## 「記念の集い」成功の力で明日に向かって飛躍しよう

築いた陽光保育園は、お金も土地も持たない人々が知恵を出し、力をあわせて、働く人々とその子どもたちの幸せをきり拓いていった四十年の歴史を静かに語ってくれました。

また、集いの舞台で明るく生き生きと踊る子どもたち、歌う子どもたちは、私たち大人に何かを語りかけているようにも見えました。皆さんの心にはどのように映

また、今回沢山の皆様からカンパ及び、ひまわり基金をお寄せいただき、心よりお礼申し上げます。

私たちにとって、四十周年をどのように迎えることができるかは、大きな課題でした。こうして今、「記念の集い」の成功を皆さんに感謝する

その中で、'76年に卒園して、現在共同作業所で働いている石塚ゆりさん(初めての障害児卒園児)から、星野園長に自分で働いて買った花束の贈呈がありました。参加者から大きな拍手がありました。

中で自らの存在を認め、時代の新しい大きなうねりの中で、「明日に向かって」どのように歩み続けていったらよいのか。この二年間のとりくみの中で語り合った、願いや不満も含めて、父母、職員、理事そして、もっとも多くの人々と共に見つけていきたいと思います。

日本の子どものいや、世界中の子どものいや、少しでもよい環境で、すこやかに育つことができることを願って。

一九八九年十月

社会福祉法人 陽光会

陽光保育園

理事長・平沢静子  
園長・星野紀





# 感動

## 美しく、心洗われる調べに 陽光40周年の歩みを重ねて

# 胸に熱く

## 舞台から

### 東京コレギウム・オリジナーレ

### コンサートマスター

### 矢島栄子



当日は、どれ位お客様が来て下さるか、静かに聴いて下さるか、音はきこえるかしら、プログラムは難しすぎないかしら等々心配していましたが、お天気にさえ恵まれ、企画は大成功でしたね。本当におめでとうございました。

子どもさんまで皆さん静かに、そして熱心に聴いて下さいましたし、私にも多くの方が素晴らしい会だったと喜びの声を聞かせて下さる等本当にうれしく思っております。

最後に、あの様にすばらしい会で演奏する機会を与えて下さったことに、私共一同、心からお礼申し上げます。

## 荒馬踊り

### 陽光保父・小内康寛

荒馬というのは卒園しても魅力のあるものですね。当日、三十余名の卒園児が踊ってくれました。



「はずかしい」なんて声もちらほら聞かれましたが、本番になったら生き生きと踊っていました。荒馬を踊る心強さが出ていたと思います。

## 豊年太鼓

### 陽光保母・下堂前真美

去年の運動会の出し物だった「豊年太鼓」を、新入職員も含めて練習した時は、本当にあの大きな舞台で、できるのだろうかという不安ばかりでした。

その後、まわりの皆さんに励まされ、少しずつ音も気持ちも合うようになってきました。寸暇をぬつての練習の成果を皆さんに見ていただき、「よかったです」と言われてホッとしています。



## 客席から

### 当時のこと、今も忘れません

### 卒園児母・石塚かよ子

陽光保育園40周年おめでとうございました。

一部・二部では子どもが入園した当時のことをなつかしく思い出し、レセプションでは保育園の偉大さを知らされました。四十年の間、一貫した保育が引き継がれていくことは大変なことと思えました。参加された方々のお祝いのことも重みのある素晴らしいお話ばかりで感動いたしました。

十七年前、無理を承知の上で我が子をお願いいたしました。その子も八月に「はたち」になりました。今では福祉作業所に通えるようになり、大人の仲間入りしたような気持ちでいます。障害児保育が現在のように受け入れられていなかった頃ですので、本当にありがたく、あの当時の気持ちは今も忘れることはありません。陽光保育園を通して多くの方々を知り合え、子どもを大切にしてくださる心ゆとりも教えられました。ありがとうございました。

### 成功を、この目で確かめたくて

### 旧職員(新潟・松之山・高橋ミツイ)

創立四十周年という記念すべき年に、皆さんの企画された「記念の集い」に参加できたことを、本当にうれしく思っております。農繁期で

当日の古楽器を用いた演奏は、とてもやわらかく、優しい音色で、期待以上にすばらしいものでした。私はしばらくの間、子どもがいてることを忘れて夢の世界に引きずり込まれていたようです。こんなにはすばらしい一時をお作りいただき、ほんとうにありがとうございました。

## 舞台裏から

### 保育について

### 陽光保母・原芳子

当日、六十名の子ども達の保育にあたりました。乳児、在園幼児、一般幼児と三グループに分かれました。何人集まるか、どれだけの保育が必要かが全くわからず、責任のある保育ができるかどうか不安でしたが、手伝いをかって出てくれた人が沢山あり、無事に二時間半を過ごすことができました。ご協力下さった多くの方々、本当にありがとうございました。

### 実行委員として

### 理事・津田良輔

「二階席がほぼ埋まり、三階へも人が流れています」若い実行委員の一人が上気した顔で報告にきた。千人突破ですね」とも付け加えた。「そう……」と軽く受け流したが、心の中で「快哉！」を叫んだ。

「小さな保育園の大きな企画」に、もちろん一抹の不安はあったが、開催日が迫るとともに発券状態も尻上り。後は当日の天気と人出だけだ、と自らに言い聞かせつつ迎えた「陽光保育園創立四十周年記念の集い」の当日。とにかく、三年に亘る各種の催事の積み重ねの上に、園史に残る大きな足跡を残せた満足感。この日の多忙さをまったく忘れさせた。今は実行委員を始め、様々な立場で協力を惜しまなかった多くの方々へ感謝と労いの言葉を送りたい。

## 子どもを忘れて夢の世界へ

### 在園児母・布施恵美子

四十周年記念の集いで、モーツァルトの演奏会があると聞いて、ずっと楽しみにしていました。子どもができてからは毎日が忙しく、演奏会に行くなんて考えられないことでしたし、モーツァルトについては、お芝居を観に行ったほど大好きですから。

## いつしよに遊ばしよ!

地域のお子さん、お母さん。陽光保育園の子どもたちと一緒にリズム、歌、砂遊び、お散歩など楽しく遊んでみませんか。動きやすい服装で、気軽にお出かけ下さい。

1989年度予定  
10月24日(火)  
11月8日(水)  
12月13日(水)  
1月9日(火)  
2月8日(木)  
3月7日(水)

\*参加希望の方は、事前にご連絡下さい。  
☎(956)1068 陽光保育園  
板橋区大谷口上町23の1  
時間・午前9時~11時  
対象・就学前の乳幼児  
(0歳~5歳児)

## 園児募集

今すぐ入園  
できます

3歳児 — 1名  
4歳児 — 4名  
5歳児 — 1名  
(問合わせ)  
☎(956)-1068

## 会場の声 —アンケートより—

平沢先生のごあいさつが、大変感動的で立派でした。先生の信念が溢れていました。どうぞいつまでも元気で、さすがに陽光ならではの企画で感謝しています。これからの子どもたちのために、地域の皆と共に歩まれ、発展されるよう、心から期待しております。

日常生活で離れていた「音」の世界に、久しぶりにひたることができました。この機会をつくっていただいたことに感謝いたします。とりわけ、古楽器のゆつたりと、ふくらみのある柔らかな優しい音楽には、疲れをいやしてもらいました。

何より、子どもたちののびのびと、主人公らしく歌っていたのが良かった。大人ばかりの式典をやりがちな記念の集いですが、こういう型が、本来の姿という気がした。